

果たすため、『強い組合・強い企業づくり』を理念に掲げ、これまで以上に、県内中小企業の皆様に対する支援を充実させていく。」と挨拶しました。続いて、来賓を代表して橋口昌道秋田県副知事と高橋善健秋田市商工部長から祝辞が述べられました。

引き続き、県選出国會議員や経済団体の代表等が壇上に上がり、鏡開きが盛大に執り行われ、渡邊靖彦秋田商工会議所会頭のご発声で乾杯をし、本県経済の再生を誓い合いました。



【橋口秋田県副知事】



【高橋秋田市商工部長】



【賀詞交歓会の様子】

## 新春経営トップセミナーを開催



新春賀詞交歓会に先立ち、株式会社日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏を講師として、経営トップセミナーを開催し、会員組合の役員等約180名が参加しました。



【藻谷浩介氏】

セミナーでは、「デフレの正体に学ぶ秋田の地域力戦略」をテーマに講演が行われ、藻谷氏からは、本県の人口減少について、「秋田県の現役世代の人口はこのまま減り続けるとあと60年でゼロになるが、東京でも仙台でも人口は減少している。日本全体で高齢者のマーケットは確実に拡大しているのだから、これからは、高齢者をターゲットにした販売戦略をすすめるべきである。」と力説。

また、「日本は、米国など多くの国に対して貿易黒字が続いているが、フランスとイタリアに対しては、ワインを大量に輸入しているため貿易収支が赤字となっている。品質の高いワインは、大量生産が出来ないため高い値段で販売できる。秋田

県の状況はイタリアやフランスとよく似ている。秋田県の食べ物や東日本で一番美味しいのに、販売するとなると、せっかくの地域資源を活かしきれていない。これからは、他県にない食材を活かし、秋田でしか作られない加工食品など、高く売れる商品を開発して食品加工で成功を目指してほしい。」と提言しました。参加者はメモを取りながら熱心に聴講していました。



【セミナーの様子】